

暴風等に伴う農林業用施設及び農作物等の管理対策

平成29年4月18日

新潟県農林水産部

新潟地方気象台が4月18日3時45分に発表した「暴風に関する新潟県気象情報第1号」によると、前線を伴った低気圧が急速に発達しながら日本海を進むため、県内では4月18日昼過ぎまで南西の風が非常に強く吹く見込みです。

今後の気象情報に注意し、これらに対する事前・事後対策を徹底してください。

なお、暴風時は、屋内に待機し人身事故防止に十分ご注意ください。

1 水稲

【事前対策】

強風に備えて、育苗ハウスの防風網やマイカー線の点検・補強を行う。

【事後対策】

- (1) 強風によって破損したパイプハウスのビニールシートは早急に補修してかけ直す。
- (2) 播種直後でビニールシートが損傷した場合は、応急措置としてトンネルがけを行う等保温に努める。なお、トンネルがけの場合は、パイプハウスより日中温度が上がりやすく床土が乾燥しやすいので、温度や水の管理に注意する。

2 園芸全般

【事前対策】

- (1) ハウスやトンネル・防風網の破損部分やたるみを直し、金具や支線の腐蝕箇所などを事前に点検・補強する。
- (2) 強風時は原則としてハウスを閉め切るが、高温になる場合はハウスの風下側を開け短時間換気する。強風後も急激な温度変化がないよう注意して換気する。

【事後対策】

- (1) ハウスやトンネルのビニールが破損及び緩みがある場合は、速やかに補修する。
- (2) 強風で茎葉などが損傷した場合は、速やかに殺菌剤散布を行い、病原菌の感染を予防する。

3 野菜

【事前対策】

- (1) すいかやねぎ等の定植、だいこんやにんじん等のは種は強風がおさまってから行う。
- (2) 砂丘地では飛砂の恐れがある場合、あらかじめスプリンクラーによるかん水等で砂を湿らせておく。
- (3) ベたかけ資材の抑えを補強する。

【事後対策】

- (1) ベたかけ資材が破損や飛散した場合は、かけ直す。
- (2) ねぎの植溝が埋まった場合は、株の分岐部が見えるように手直しする。

4 果樹

【事後対策】

- (1) 倒伏した場合は樹体を引き起こして支柱で固定する。また、主枝・亜主枝の裂壊や損傷が発生した場合は、損傷箇所を切り直して保護剤を塗布する。
- (2) 防風施設を点検整備し、樹園地内の保温のため破損した箇所は早急に補修する。

5 花き

【事前対策】

砂丘地では飛砂の恐れがある場合、あらかじめスプリンクラーによるかん水等で砂を湿らせておく。

【事後対策】

チューリップなどの球根類において、飛砂により株が埋没した場合は、速やかに株を掘り出す。

6 畜産

【事前対策】

- (1) あらかじめ停電や断水等の対応を確認し、被災時には自家発電機による搾乳や生乳冷却、ウインドレス畜舎の換気等について、早急に対応できるよう準備、点検を行う。
- (2) 畜舎の破損を防ぐため窓や扉等は確実に閉じるとともに、必要に応じて補強する。
特にハウス畜舎等簡易な施設は、風の被害を受けやすいため、補強を確実にを行う。
- (3) 畜舎への雨水の浸水を防ぐとともに、配合飼料・乾草等は、濡れて変敗しないよう、安全な場所に移動する。

【事後対策】

- (1) 停電があった場合は、復旧後速やかに関連機器の作動点検を行う。
- (2) 施設等の破損があった場合は、必要に応じて家畜を安全な場所に移動させる。
また、速やかに修繕をし、家畜の安全な飼養環境を確保する。
- (3) 畜舎の破損により雨水等の浸水があった場合は、速やかに畜舎、設備器具の水洗、乾燥、消毒を行う。特に、搾乳機器は十分な点検を行い、消毒等の衛生対策を徹底する。

7 きのこと

【事前対策】

- (1) 施設（ハウス、雨よけなど）の点検を十分に行い、損壊、倒壊等が生じないよう保護・補修に努める。
- (2) 屋外に保管してある資材類（おが粉等）が飛散しないよう、被覆などの適切な管理を行う。移動が可能な場合は屋内に移動させる。

【事後対策】

- (1) 強風が収まったら速やかに、被害状況の把握に努める。
- (2) 被害状況に応じた適切な修繕を行い、施設等の速やかな復旧に努める。
- (3) 修繕は十分な安全を確保してから実施する。